

わたしの産んだ子が

きしだ みどり

わたしの産んだ子が、ここにいる。

まぎれもなく、わたしの産んだこが、ここにいる。

静かな、寝息をたてて、

夜のしじまに、聴こえる寝息よ。

消して途切れることなく、続いてほしいと願う。

生きている確かな証拠。

古代より連綿と続く命のリレーバトン。

バトンを渡した子が母となり、

命のリレーは続いていく。

きしだ
みどり

一九八三年 大阪府立四條畷高等学校卒

専業主婦。

二〇一四年

三月十五日文芸社より出版
『夜明け前が一番暗い』